

事業所基本情報入力シート

・本シートに必要な事項を入力の上、別シートの所要額調査等を入力
 ※各種シートの完成には本シートへの入力が必要で

各種書式を作成のためには最初に本シートへの入力が必要となります。
 本シートを入力後に本エクセルの右側

事業所番号	1222199999
法人名	特定非営利活動法人 流山
法人所在地	流山市平和台1-1-1
代表者氏名	理事長 流山 太郎
法人全体の定員数 ※数値のみ入力	6人
施設名	流山市ハウス
上記施設の定員数 ※数値のみ入力	6人
人員配置	リストから選択してください

申請が複数事業所番号にわたる場合は入力不要です。

人員配置区分はプルダウンリストから選択してください。
 手入力を行うと補助基準額が正しく表示されない場合があります

受給者証番号	障害支援区分 ※数値のみ入力	入居月数 ※数値のみ入力
1222055555 東洋	区分3	12.00ヶ月
1222066666 江戸川台 夏子	区分3	8.00ヶ月
1222066666 江戸川台 夏子	区分4	4.00ヶ月
1222077777 駒木 秋子	区分2	10.00ヶ月
1222088888 譜ヶ崎 冬子	区分4	8.19ヶ月

定員数、区分、入居月数は数字のみを入力してください。
 「人」、「区分」、「ヶ月」は自動で入力されます。

入居者実人数
4人

受給者証番号も全て入力してください。

※入居期間中に障害支援区分は、障害支援区分ごとに行を分けて入力欄に入力してください。
 (例) 令和7年4月から入居している受給者(区分3)が、令和8年1月から区分4に変更になった。
 →障害支援区分3-入居月数:9ヶ月、障害支援区分4-入居月数:3か月で別の行を分けて入力。
 受給者証番号・入居者氏名もそれぞれ入力を行ってください。

入居者の行数が足りない等、入力シートの作成に不具合が生じる場合は、障害者支援課担当者へお問い合わせください。
 ○問い合わせ先
 担当: 障害者支援課 給付係: 白石
 電話(直通): 04-7150-6081
 メールアドレス: shougaishien@city.nagareyama.chiba.jp

別紙1

法人で運営しているグループホームの総定員数。今回の場合は、法人内で運営している住居が1つなので連動する。

(記載例)流山市障害者グループホーム運営事業経費所要額調書

B欄には「2 対象者の内訳」の「補助対象者」の実人数と一致させる。記載例では春子、夏子、秋子、冬子の4人となる。

複数ある場合、共同生活住居毎に分けて作成

施設名 流山市ハウス

1 補助金所要額

収支予算書Cの合計と同じ額。

寄附金と入居者全体の基本報酬、入院時・帰宅時・人員配置体制

(単位:円)

定員 A	対象者数 (流山市分) B	対象経費		差引額 E C-D	流山市分 F E × (B/A)	補助基準額 G	補助所要額 (FとGを比較して 少ない額) H	備考
		対象経費の 支出予定額 C	寄付金その他の 収入予定額 D					
6人	4人	7,046,762	6,293,294	753,468	502,312	401,227	401,227	

注1) Fの「流山市分」の欄については1円未満切り捨てとする。

注2) Gの「補助基準額」欄に入居途中で区分変更があった場合、2行に分ける→記載例の場合、11月途中で区分変更があったため、

月数の計算間違いが多いため正確に計算・記入

補助基準額シート参照。世話人配置・定員・障害支援区分を入力

基本報酬、入院時・帰宅時・人員配置体制加算分の合計

2 対象者の内訳

定員	補助対象者	障害支援区分	月数①	補助基準額②	国加算等の計 ③	合計 ①×②-③
6人	東深井 春子	3	12.00	104,000	1,127,407	120,593
	江戸川台 夏子	3	8.00	104,000	687,248	144,752
	江戸川台 夏子	4	4.00	124,000	441,867	54,133
	駒木 秋子	2	10.00	82,000	779,631	40,369
	緒ヶ崎 冬子	4	8.19	124,000	974,180	41,380
計			42.19		8,094,818	G 401,227

月の途中で入居、退居があった場合は日割計算(12/6退居→4~11月で8ヶ月 6日÷31日=0.19)

注1) 区分1には非該当(障害支援区分の認定を受けていない者を含む)を含む。

注2) 対象者が半月ばで入退去した場合の月数は、当該月の日割計算を行い、小数点以下第2位まで算出すること。(小数点以下第3位を切り捨て)

注3) 月の途中で定員、指定に係る世話人の配置基準及び障害支援区分が変更になった場合は、月の初日(月の途中で入所した場合においては、当該入所した日)の定員、指定に係る世話人の配置基準及び障害支援区分を適用すること。

注4) 「国加算等の計」の欄には、共同生活援助サービス費、入院時支援特別加算、長期入院時支援特別加算、帰宅時支援加算、長期帰宅時支援加算及び人員配置体制加算の合計額を記入すること。

注5) 「合計」欄が零を下回る場合は零とする。

(記載例) 流山市障害者グループホーム等運営事業補助金収支予算書

1 歳入		単位：円	
科 目	総予算額	流山市分 (流山市の人員/総予算額)	説明
d 事業報酬 ※1	6,218,294	4,145,529	
寄附金	75,000	50,000	
小規模加算金	692,603	461,735	
その他加算金	1,570,420	1,046,946	
市補助金	614,831	409,887	
入居者負担金	2,526,982	1,684,654	
雑収入	63,023	42,015	
前年度繰越金	184,037	122,691	
合計	注 11,945,190	7,963,460	

補助金の対象となるものについて、法人全体の収支を分かるように記入ください。

所要額調査書に定員・退所者を入

※1...事業報酬の欄には、共同生活援助サービス費、入院時支援特別加算、長期入院時支援特別加算、帰宅時支援加算及び長期帰宅時支援加算、人員配置体制加算の合計額を記入してください。

※2...対象外経費とは、入居者が負担する額（食材料費、家賃、光熱水費、日用品費、修繕積立金）や繰越金、食糧費（職員の会議等における）、借入返済金、住居の建設費、修繕費等のことです。

また、科目についてはあくまで記載例であるため、着色部分の入力に支障のない範囲での追加や変更をしていただいても問題ありません。

2 歳出

単位：円

科 目		総予算額	流山市分 (流山市の人員/総予算額)	説明
c 人件費 (対象経費)	職員給料・手当	5,940,627	3,960,418	
	法定福利費	90,000	60,000	
	非常勤職賃金	505,713	337,142	
	報償費	25,000	16,666	
	旅費	150,000	100,000	
運営費 (対象経費)	消耗品費	136,249	90,832	
	燃料費	53,721	35,814	
	通信運搬費	15,206	10,137	
	保険料	71,024	47,349	
	備品購入費	59,222	39,481	
	対象外経費 ※2	家賃	3,023,814	2,015,876
	光熱水費	870,157	580,104	
	日用品費	134,241	89,494	
	修繕費	108,423	72,282	
	食料費	761,793	507,862	
合計	11,945,190	7,963,460		

着色部分について

d ...事業報酬、寄付金の合計金額が所要額調査書のD欄に該当する金額となります。

c ...人件費、運営費の合計金額は所要額調査書のC欄に該当する金額となります。

注 ...歳出、歳入の合計金額に差がないように入力ください。

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

所在地 流山市平和台1-1-1

法人名 特定非営利活動法人 流山

代表者名 理事長 流山 太郎

別紙

法人で運営しているグループホームの総定員数。今回の場合は、法人内で運営している住居が1つなので連動する。

(記載例)流山市障害者グループホーム運営事業経費所要額精算書

複数ある場合、共同生活住居毎に分けて作成

B欄には「2 対象者の内訳」の「補助対象者」の実人数と一致させる。記載例では春子、夏子、秋子、冬子の4人となる。

施設名 流山市ハウス

1 補助金所要額

収支決算書Cの合計と同じ額。収

寄附金と入居者全体の基本報酬、入院時・帰宅時・人員配置体制加算分の合計。

(単位:円)

定員 A	対象者数 (流山市分) B	対象経費の 支出額 C	寄付金その他の 収入額 D	差引額 E C-D	流山市分 F E × (B/A)	補助基準額 G	(FとGを比較して 少ない額) H	交付決定額 I	差引 過不足額 I-H	備考
6人	4人	7,046,762	6,293,294	753,468	502,312	401,227	401,227	401,227	0	

注1) Fの「流山市分」

注2) Gの「補助基準

入居途中で区分変更があった場合、2行に分ける
→記載例の場合、11月途中に区分変更があったため、
4～11月まで区分3 8か月
12～3月まで区分4 4か月

月数の計算間違いが多い
ため正確に計算・記入

補助基準額シート参照。世
話人配置・定員・障害支援

2 対象者の内訳

(単位:円)

定員	補助対象者	障害支援区分	月数①	補助基準額②	国加算等の計 ③	合計 ①×②-③
6人	東梁井 春子	3	12.00	104,000	1,127,407	120,593
	江戸川台 夏子	3	8.00	104,000	687,248	144,752
	江戸川台 夏子	4	4.00	124,000	441,867	54,133
	駒木 秋子	2	10.00	82,000	779,631	40,369
	緒ヶ崎 冬子	4	8.19	124,000	974,180	41,380
計			42.19		8,094,818	G 401,227

基本報酬、入院時・帰
宅・人員配置体制時加
算分の合計

月の途中で入居、退居が
あった場合は日割計算
(12/6退居→
4～11月で8ヶ月
6日÷31日=0.19)

注1) 区分1には非該当(障害支援区分の認定を受けていない者を含む)を含む。

注2) 対象者が月半ばで入退去した場合の月数は、当該月の日割計算を行い、小数点以下第2位まで算出すること。(小数点以下第3位を切り捨て)

注3) 月の途中で定員、指定に係る世話人の配置基準及び障害支援区分が変更になった場合は、月の初日(月の途中で入所した場合においては、当該入所した日)の定員、指定に係る世話人の配置基準及び障害支援区分を適用すること。

注4) 「国加算等の計」の欄には、共同生活援助サービス費、入院時支援特別加算、長期入院時支援特別加算、帰宅時支援加算、長期帰宅時支援加算及び人員配置体制加算の合計額を記入すること。

注5) 「合計」欄が零を下回る場合は零とする。

(記載例) 流山市障害者グループホーム等運営事業補助金収支決算書

1 歳入

補助金の対象となるものについて、法人全体の収支をが分かるように記入ください。

清算書に定員・退所者を入力すれ

単位：円

科目	総予算額	流山市分 (流山市の人員/総予算額)	説明
d 事業報酬 ※1	6,218,294	4,145,529	
寄附金	75,000	50,000	
小規模加算金	692,603	461,735	
その他加算金	1,570,420	1,046,946	
市補助金	614,831	409,887	
入居者負担金	2,526,982	1,684,654	
雑収入	63,023	42,015	
前年度繰越金	184,037	122,691	
合計	注 11,945,190	7,963,460	

※1...事業報酬の欄には、共同生活援助サービス費、入院時支援特別加算、長期入院時支援特別加算、帰宅時支援加算及び長期帰宅時支援加算、人員配置体制加算の合計額を記入してください。

※2...対象外経費とは、入居者が負担する額（食材料費、家賃、光熱水費、日用品費、修繕積立金）や繰越金、食糧費（職員の会議等における）、借入返済金、住居の建設費、修繕費等のことです。

また、科目についてはあくまで記載例であるため、着色部分の入力に支障のない範囲での追加や変更をしていただいても問題ありません。

着色部分について

d ...自立支援給付費、寄付金の合計金額が所要額精算書のD欄に該当する金額と

c ...人件費、運営費の合計金額は所要額精算書のC欄に該当する金額となります。

注 ...歳出、歳入の合計金額に差がないように入力ください。

2 歳出

単位：円

科目	総予算額	流山市分 (流山市の人員/総予算額)	説明
c 人件費 (対象経費)	職員給料・手当	5,940,627	3,960,418
	法定福利費	90,000	60,000
	非常勤職賃金	505,713	337,142
	報償費	25,000	16,666
	旅費	150,000	100,000
運営費 (対象経費)	消耗品費	136,249	90,832
	燃料費	53,721	35,814
	通信運搬費	15,206	10,137
	保険料	71,024	47,349
	備品購入費	59,222	39,481
	対象外経費 ※2	家賃	3,023,814
光熱水費	870,157	580,104	
日用品費	134,241	89,494	
修繕費	108,423	72,282	
食料費	761,793	507,862	
合計	注 11,945,190	7,963,460	

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

所在地 流山市平和台1-1-1

法人名 特定非営利活動法人 流山

代表者名 理事長 流山 太郎